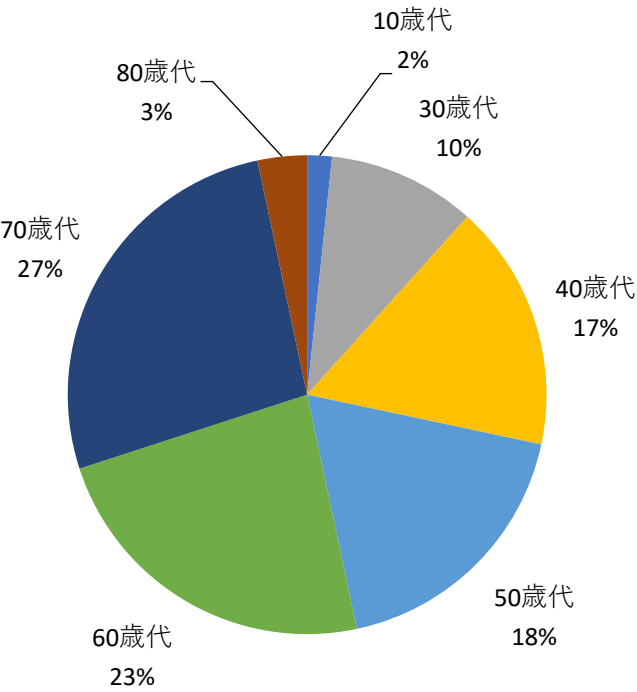


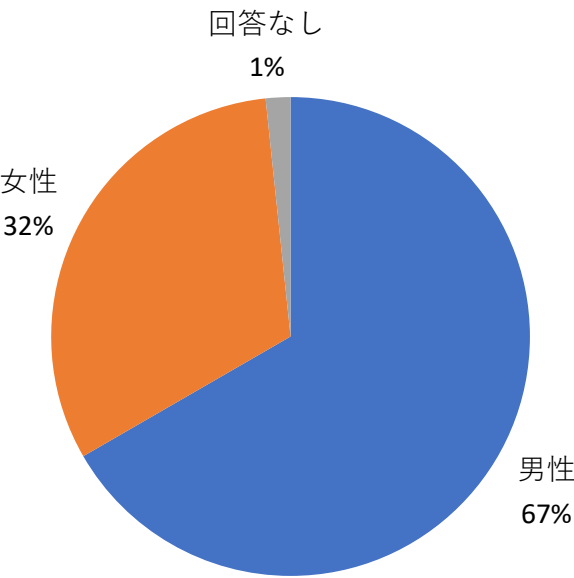
あなたの年代は？

10歳代	1 人
20歳代	0 人
30歳代	6 人
40歳代	10 人
50歳代	11 人
60歳代	14 人
70歳代	16 人
80歳代	2 人
90代以上	0 人
回答なし	0 人
計	60 人



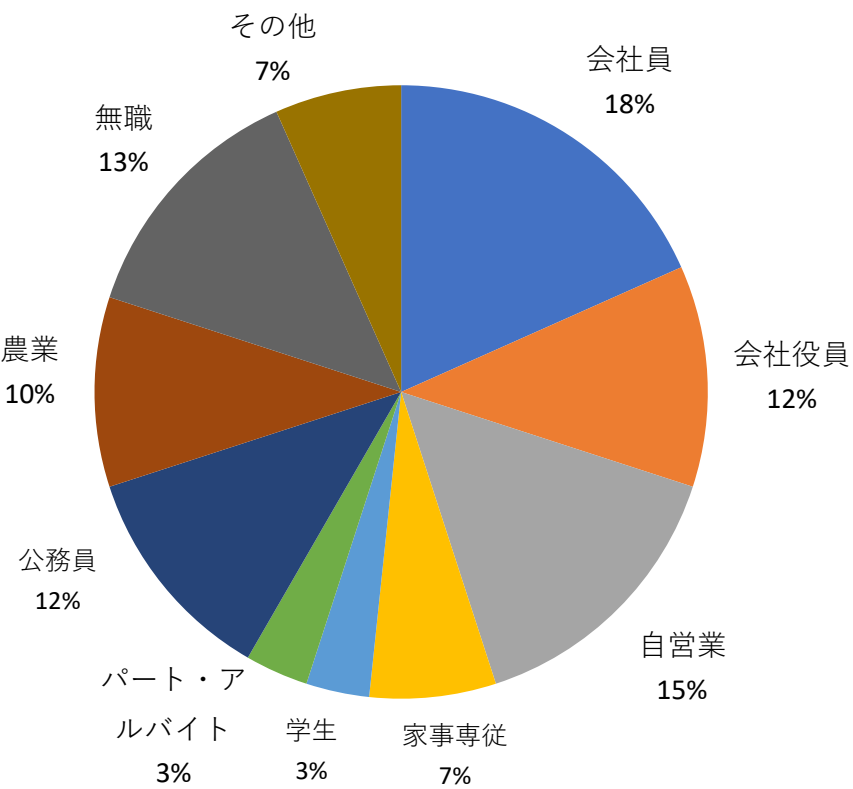
あなたの性別は？

男性	40 人
女性	19 人
回答なし	1 人
計	60 人



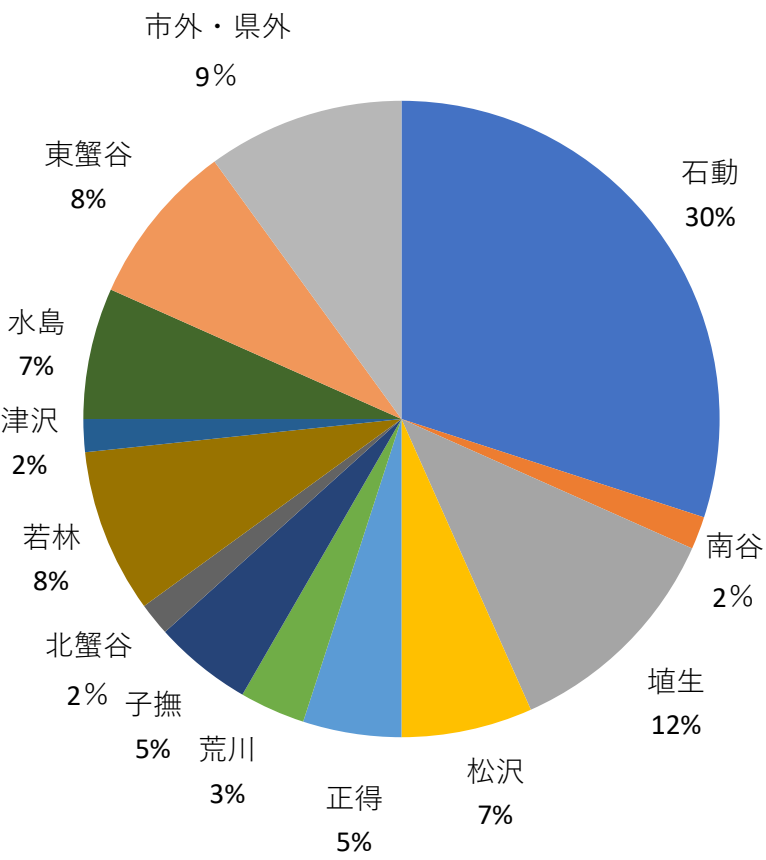
あなたの職業は？

会社員	11 人
会社役員	7 人
自営業	9 人
家事専従	4 人
学生	2 人
パート・アルバイト	2 人
公務員	7 人
農業	6 人
無職	8 人
その他	4 人
回答なし	0 人
計	60 人



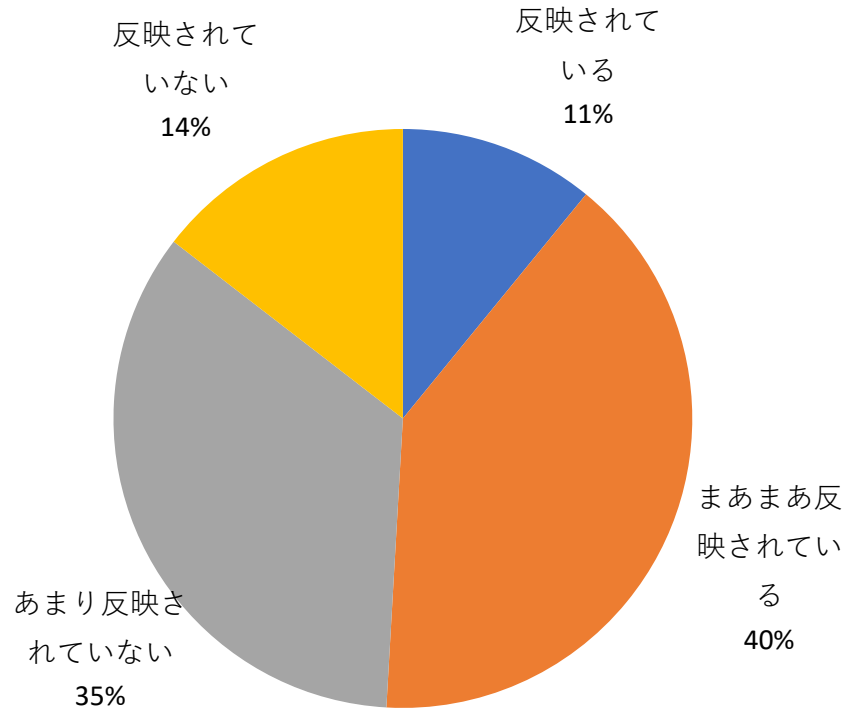
お住まいの地区は？

石動	18 人
南谷	1 人
埴生	7 人
松沢	4 人
正得	3 人
荒川	2 人
子撫	3 人
宮島	0 人
北蟹谷	1 人
若林	5 人
津沢	1 人
水島	4 人
薮波	0 人
東蟹谷	5 人
市外・県外	6 人
回答なし	0 人
計	60 人



あなたは、小矢部市議会議員が市民代表として、市政に市民の声を反映していると思いますか？

反映されている	6 人
まあまあ反映されている	22 人
あまり反映されていない	19 人
反映されていない	8 人
回答なし	5 人
計	60 人

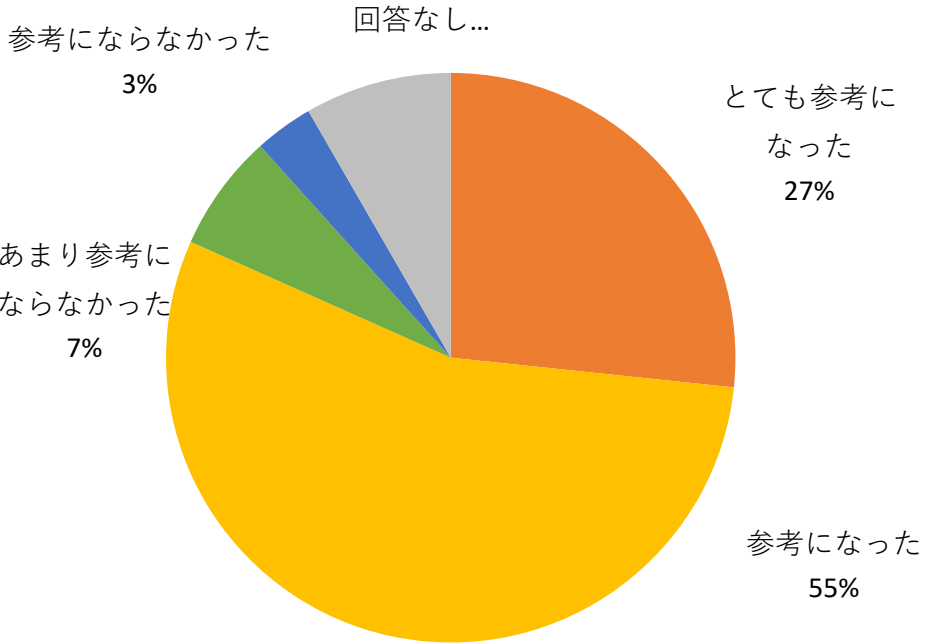


【理由】

- ・ 市民と議会との議論が乏しい。議員個人の考えや思いつきで発言される場合が多すぎるのではないかな。
- ・ 地元の振興会・社会福祉協議会の会議、イベントに参加し意見を聞いているし、議会の報告もされている。
- ・ 市議会の傍聴をしていて、様々な問題を取り上げていると感じるから。
- ・ まだまだ議員と市民が直接話をする機会が少ないと思われる。
- ・ 地域に足をつけて、地道に活動され、その声を市政に届けている。
- ・ 全ての市民の声を反映させるのは不可能だが、議員の中に一般の方からの声を広く聞く形（SNS等）を作っている方もいるので聞く姿勢を持っていると思う。
- ・ 若手や女性が少なく、性別や年齢構成の偏りがあるので反映されているとは言えないが、少数の若手や女性が民意を反映しようとする姿勢が見える。
- ・ 議会だよりをみると、市の状況・実態を反映した内容が議題に上がっていると思うので。
- ・ 質問に対して必ずフィードバックをしてくれる。また市民の意見を取り上げて担当部署に伝えてもらえる。
- ・ 若い世代の方の意見は反映されていないと思う。
- ・ こども園の建設などの一方で、保育園を廃止するなどムダな投資を正す声は届いていないのではないかな。
- ・ パブリックコメントで意見を求められ、意見を出すものの、どう集約して最終結論になった過程が見えず、反映されていない不信感がある。
- ・ 振興会など高年齢の意見ばかり聞いている。少数の意見を拡声だけしているイメージ。
- ・ 一部の声の大きい市民の意見ばかりが伝わり、本当に取り上げてほしい小さな声の市民の意見・要望をくみ上げることがされていないと感じる。
- ・ 市議会議員の高齢化が著しく、市民感覚とのズレが大きいため。
- ・ 本会議での質問内容から、市民の声が聞こえてこない。市民を代表しているのであれば、自分の意見より市民の意見を質問にいれてほしい。
- ・ 以前、委員会を傍聴したが、全く話し合いにならなかったし、市民が言いたいことを言う機会は小矢部には無い！議員は自分の意見を持っていない！
- ・ 何を重要課題にしているのか、分からないので評価のしようがない。

基調講演ははいかがでしたか。

とても参考になった	16 人
参考になった	33 人
あまり参考にならなかった	4 人
参考にならなかった	2 人
回答なし	5 人
計	60 人

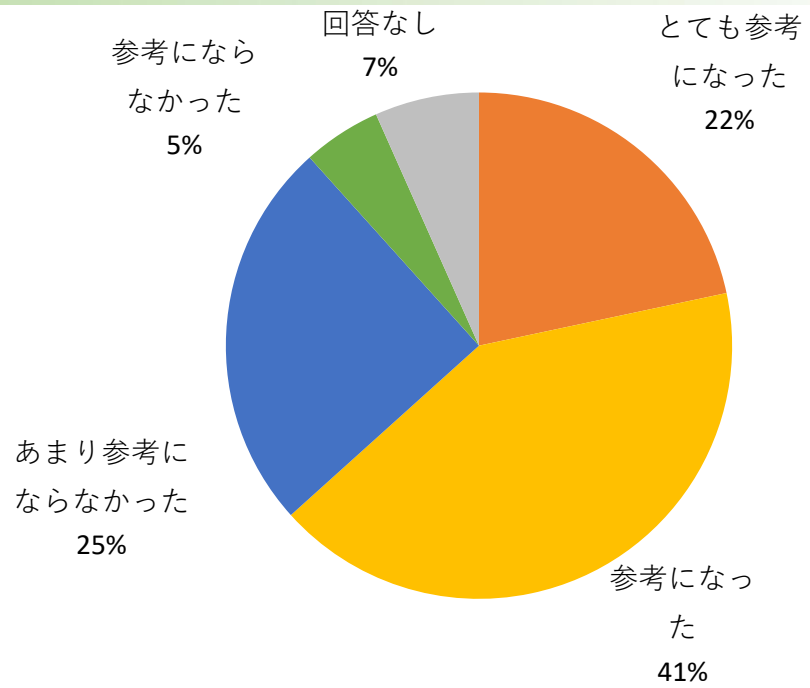


【理由】

- ・今までは議会のことは興味がなく、議員が何をしているのかわからなかった。これから注意深く見ていきたい。これは中学生なども参加させたりしたら将来の小矢部を見る子どもたちの参考になると思う。
- ・定数と報酬などについて考える機会が得られて参考となった。
- ・議会として何か動かないといけないと考えていることに対して理解はできたので、今後の結果に期待したい。でも、パネルディスカッションも含めて時間が短いと感じた。
- ・江藤教授の話や内容ががおもしろかった。
- ・二元代表制を採る地方自治の意味が明らかになった。
- ・基調講演ではあらためて地方議会の役割を再認識できた。
- ・基調講演の江藤先生の話により、自分の知識外のことも多く知ることができた。
- ・議員に対して漠然とした知識でいたので、こうあるべき姿を理解できて良かった。その上で議員・議会に対して改めた見方をしていきたい。
- ・何分にも初めてのことなのでむずかしい。
- ・時間が短すぎる。
- ・頑張ってきたけど難しい。興味はある。
- ・一般論ではあるが、自分の日頃から思っていたことをわかりやすく説明してもらった。
- ・定数や報酬の重要さを理解できた。
- ・これからの地域目標とその過程の検証に議会が果たすべき役割がよく分かった。
- ・パネラーとして様々な視点があるよう意見を表明し、一面的な見方になりがちな雰囲気にはならなかった。

パネルディスカッションはいかがでしたか。

とても参考になった	13 人
参考になった	25 人
あまり参考にならなかった	15 人
参考にならなかった	3 人
回答なし	4 人
計	60 人

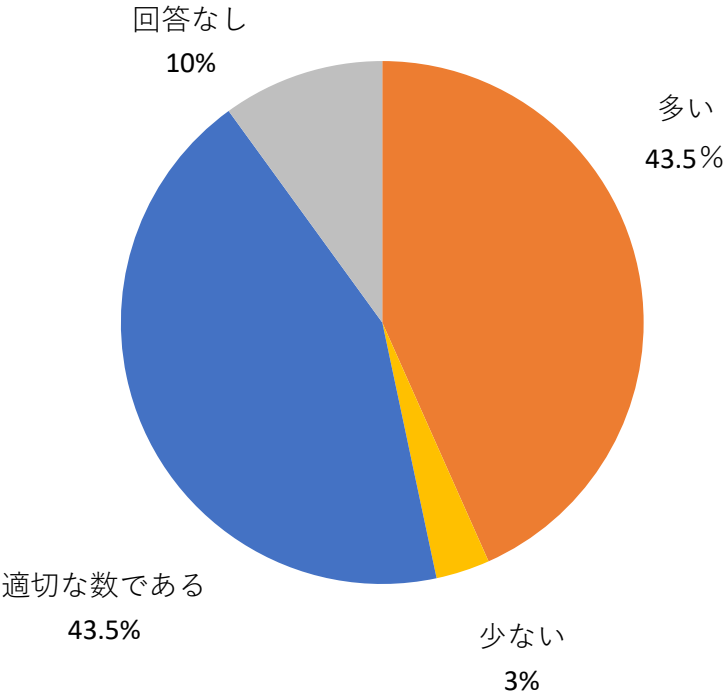


【理由】

- ・ パネラーが女性、男性、年代とバランスがとれていろいろな意見が聞けて、大変良かった。
- ・ 今まで真剣に考えていなかった市議に対して、考える機会が得られ、パネラーの考えが参考になった。
- ・ 幅広い意見があり、これをどう集約していくかが議会に課せられたものと思う。
- ・ 議員の高齢化を問題にあげているのに、パネラーにもっと若い方を入れて欲しかった。
- ・ 参加者とパネラーが同じ意見とは思って欲しくない。あくまでもパネラーの意見として留めて欲しい。
- ・ 課題に対して賛成、反対の立場の方がいると理解が深まると思う。全て公募にした結果、多様な意見があることだけわかった。
- ・ 市民の生の声を発表、または聞くことができた。次回はもっと大規模に開催してほしい。
- ・ 定数について、様々な考え方があると感じた。
- ・ 身近でディスカッションを見聞きして刺激になりました。
- ・ パネルディスカッションは分からない人が単にしゃべっているだけ意味ない。
- ・ 問題提起の講演とその後のパネルディスカッションに大きな断絶があり、深まらなかった。
- ・ パネルディスカッションも多様な意見が聞けてよかった。
- ・ パネラーも堂々と持論を展開され素晴らしかった。
- ・ 市民パネラー 4 人の発言がそれぞれ違って興味深かった。
- ・ 40代のパネラーの意見がとても身近に感じた。女性の意見が半分（人数）あってよかった。高齢の男性だけの意見では、偏りが多くなってディスカッションの意味がないと思っていたのでよかった。
- ・ 難しい言葉で本音が分からない。知識や学があるとわかるが、そもそも市民はそのような利口な人ばかりではない。
- ・ 市民パネラーがそれぞれの立場から生の声が聞けてよかった。それについて江藤先生の意見が適切で納得できることが多かった。
- ・ 考えるきっかけにはなったが、うわべだけの討論になった。もう少し議論の深まりを期待していた。
- ・ slidoをもっと取り上げてほしかった。
- ・ もっと違うティストで市民の声が聞けるのではないか。
- ・ 普段考えないような内容を認識させられた。

あなたは本日の市民フォーラムに参加して、現在の議員定数16名について、どう思われましたか。

多い	26 人
少ない	2 人
適切な数である	26 人
回答なし	6 人
計	60 人



【多い】

- ・ 近隣市（砺波、滑川）から見ても、15名で良いのではないか。
- ・ 定年世代が多すぎる。
- ・ 2000人に 1 人が良い。
- ・ 県内の他の 9 市と比較して、人口比で見るとかなり多い議員数であるため。
- ・ 市民の声が届きやすい仕組みがあれば、もっと減らせばいい。
- ・ 市の予算、人口減を考えると議員定数を減らす必要あり。
- ・ 報酬も多くかかっているから、一人一人しっかり働いているか疑問（自分のために議員になりたい？）。報酬600万（年間）に見合っていない、他の職種と比べて楽でないか？
- ・ おらが村の議員になっていて、市全体を見ていない方が多いように感じる。
減らせばもっと見てもらえるのでは？
- ・ 自分が何をしたいという事が無い人が多い。地域の人におされて、ただ出ただけの人はダメです。
- ・ 活動が見えない市議が多い、地元だけ大切にしている。

【少ない】

- ・ 市民の声を聴くためには、議員の数は多い方がよい。また、議員にアイディアを求めるためにも。
- ・ 議員相互の討論になりにくい。多様な市民の声を受け止め切れていない。

【適切】

- ・ 減らす傾向が多い中ですが、市民の声が届きにくくなることに賛成できない。
- ・ 地区にだいたい 1 人が順当だと思う。
- ・ 基準を明確にして、それに準じて定数を変動させる。
- ・ 各地区から 1 名ずつ選出されるようがいいと思う。
- ・ 取り組む課題も多岐に渡るので、市民の代表として必要。
- ・ 地区の数と大体マッチしているから。地区の代表ということばかりではいけないが。
- ・ 増減させる明確な理由が無い。
- ・ 色々な条件が有るので決められない

適切な定員は何名だと思いましたか。

【多い】

- ・ 15名（9 件）
- ・ 14名（5 件）
- ・ 12～14名（2 件） 例：18地区で9 名＋女性枠 3～4 名
- ・ 16名以下
- ・ 14名または15名
- ・ 13人
- ・ 12～13名
- ・ 12名
- ・ 10～13名
- ・ 10～12名（委員会数で調整。少なくとも 7～8 名という教授の根拠が分からない）
- ・ 10名
- ・ 半分
- ・ 男女の比率 5：5 なら何でもよい。

【少ない】

- ・ 18名
- ・ もう 4～5 名は欲しい

【適切】

- ・ 現状の16名
- ・ 地区の利益代表とするならば、現状で良い。
- ・ まず、定数を減らすデメリットについての議論が必要ではないですか。
- ・ 何人でも良い。

(適切な定数について) なぜ、そう思いましたか。

【多い】

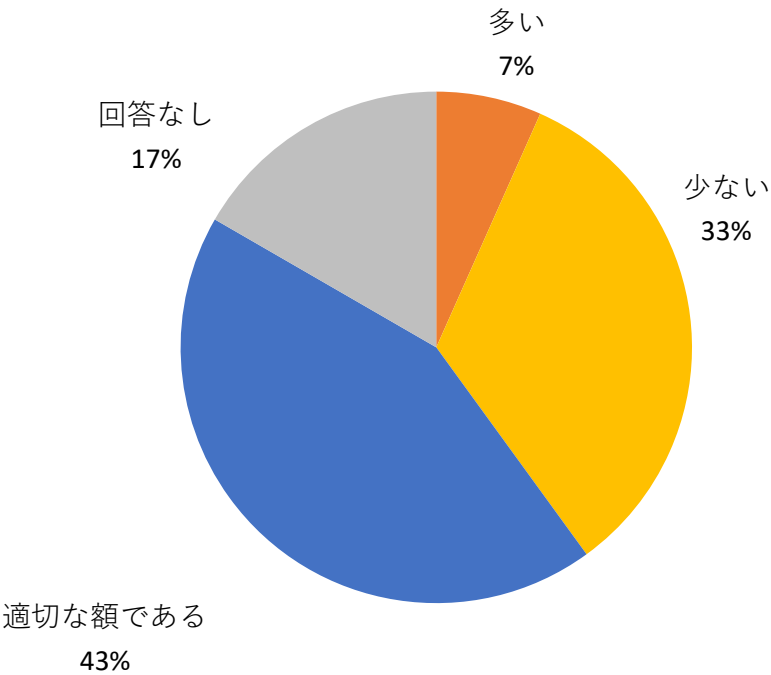
- ・ 今後、益々人口減少が進んでいくから。
- ・ その分報酬を上げた方がなり手が増える。
- ・ 現在15人で問題がないので、あえて一人戻すこともないと思う。
- ・ 女性議員が少なすぎる。
- ・ 近隣の砺波市、南砺市の人口比で算出すると10名、
県東部の滑川市、魚津市、黒部市の人口比で算出すると12名、こうした人口比を参考に削減すべきである。
- ・ 地域代表という考え方を変える必要があると思う。
- ・ 以前 2、3 人抜けていても大丈夫だったから。
- ・ 13人でも過去していたから。
- ・ 意見（民意）の反映
- ・ 定数を減らした分の報酬を、少数の議員の報酬に上乗せするほうがやる気のある有能な方が集まるのではと思った。
- ・ 立候補者が少ないので。
- ・ 人口に合わせて調整して行った方が良いと思ったから。
- ・ 単純に他の市と比較して、例えば滑川市は小矢部市より人口も面積も多いけど定員15人で小矢部市とかわらないけど成り立っているなら減らしてもいいのでは？と思う。
- ・ 過去の立候補者数をみても、立候補すればほぼ当選する状態は望ましくないから。
- ・ 審議充実や多様性の観点から極端な縮減は効果がなく、とはいえ滑川市を上回る根拠はさらにないため

【適切】

- ・ 山間部には、少数の部落もあるので、人口や面積は参考にならないと思う。簡単には減らせない。
- ・ 地域単位で選定する必要ない。
- ・ 情報（判断基準）がない。
- ・ 報酬に見合った仕事ができない方は立候補してほしくない。
議員の信用力があれば報酬額以上の仕事をするのは簡単なことだと思う

あなたは本日の市民フォーラムに参加して、現在の議員報酬月額36万円について、どう思われましたか。

多い	4 人
少ない	20 人
適切な額である	26 人
回答なし	10 人
計	60 人



【多い】

- ・ 1 期目は25万円、50代は45万円
- ・ 25万円/月
- ・ 議員数、人口など、他の市町村とくらべると、高いと感じる。

【少ない】

- ・ 40万円/月（6 件）
- ・ 72万
- ・ 40～50万円/月
- ・ 42～45万円。その額に見合った活動であればよい。
- ・ 40～45万円/月
- ・ 42万
- ・ +10万ほど
- ・ 議員の能力による
- ・ 生活ができる額
- ・ 少ないと思うが、適正額は不明

【適切】

- ・ 他市の状況を見て、適切かなと思った。

【その他】

- ・ 年齢による（2 件）
- ・ 適切かどうかは、この報酬で働いてくれる人が議員になってくれるのではないのでしょうか。
- ・ 納税額に反比例させるなど、考え方から変える必要があると思う。
- ・ 生活のほとんどを議員活動に専任するならば少ないと思う。しかし、ヨーロッパ等で生業があって、議会の開催が時間外（17:00以降）となれば、ボランティアの活動とするならば多いと思う。

(適切な報酬について) なぜ、そう思いましたか。

【多い】

- ・他の職種と比較して。

【少ない】

- ・講演で生活給ではないとあったが、ある程度の報酬がないと金持ちしか議員になれないので。
- ・少なすぎると思う。
- ・仕事として取り組むのに、生活費もかかるし、少しでも動きやすいようにしなければならないと思う。
- ・若い人も議員に立候補して欲しい。
- ・年金や社会保険料等が含まれていないので、その分も加えたらよいと思う。
- ・賃金の多い少ないは個人の感じ方によるところが大きい。市の財政状況も厳しいが、もう少し上げて良いと感じる。
- ・マーケットから優秀な人を採用する場合には、そのくらいのコストはかかります。
- ・議員全員がプラスの仕事ができれば良いだけだから。
- ・退職金なし 年金なし 保険なし、安すぎじゃないか。
- ・議員報酬のみで生活を賄えますか。
- ・市の存続を決めるほど重要な役職なら低いと思った。
- ・議員によって仕事内容も違うと思うが、市民の声を届ける大事な仕事であり、担い手の事も考えるとそのくらいは必要だと思った。
- ・物価高にあわせてあげるべきではないか。
- ・県内他市と比較、議員年金がないことも考慮。
- ・定数を減らした分を上乗せした金額を考えると、これくらいが良い。

【適切】

- ・市民生活の現状を考えて、上げるべきではない。
- ・議員報酬額よりも、小矢部市をよりよくしていきたいという気持ちが必要である。
- ・市の財政を考えると、上げるという考えはない。下げると年金世代しか議員になれないとなる。議員の若返り等を考えると適切というより仕方ないと思う。
- ・家庭の状況にもよる（子育て世代と年金をもらいながらの人などはどうなのか？）
約400万円＋ボーナスで600万円/年は妥当と思う。
- ・報酬なので黒字になれば100万でも良い
- ・活動内容がよく分からないから、回答しにくい。
- ・会社員のように毎日働いているわけではなく副業など他の仕事をしている方も多いから適切だと思う。
副業ができないくらいたくさん活動してもらえなら上げるべきだと思う。

【その他】

- ・市の財政に合うように働いてほしいです。
- ・若い議員を増やすには、もう少し多い方がなり手が増えそうと思う反面、必ずしも36万円が少なすぎると思う人ばかりではないと思う。
- ・家族、年齢などで全然違う。

その他、市民フォーラムについて、ご意見・所感等があれば自由に書いてください。（順不同）

- ・これから市を支えてくれる若い人達に、どうやったら小矢部が盛り上がるか、若い人達が興味を示してくれるような企画を立てて欲しい。今の選挙で子どもたちはスマホで情報を取り入れたりしている。高校生、中学生の意見を取り入れることは良いです。
- ・もう少しインタラクティブな方向も考えてほしい。
- ・若い世代のパネラーの参加があり、より多くの若い世代が小矢部の事を考えてもらえるようにつながると良いと思った。
- ・基調講演の時間が少なく残念です。議会の活動目的の前提が重要と思う。この点について議論を深めていかなければならないと、定数報酬についておのずと決まってくると思う。
- ・slidoを今度も使って欲しいが、取り上げる数が少なすぎた。
- ・今回のような市民フォーラムはどんどん行って欲しい。ただし、江藤教授のような専門家のきちんとしたオブザーバーがいないとまとまりのないものになってしまう。たくさんの意見を拾い上げることができるようなやり方をどんどん考えていってほしいし、取り上げてほしい。
- ・こういうフォーラムをもっとして欲しい。継続的なやって欲しいと思う。
- ・犬山市のように、一般人も議会で発言できたら良いと思います。
- ・またあればよい。率直に何でも言うべき。正解はない、意見なので。
- ・定数・報酬を切り口として、議員だけで決めるのではなく、市民が参加して議員活動の在り方を検討するのは良い場であったと思う。
- ・議員の資質（個人的な活動内容）に焦点を当てると（数値化できない）感覚的、感情的な議論に終始してしまうので、あまり意味はないと思う。
- ・このようなフォーラムを継続してほしい、オープンであるべき。
- ・他の企業の会社員と同じような給料（報酬）だと夢や魅力は感じないし、議員も自分の生活でいっぱいになる。余裕を持って真剣に取り組めるような議員報酬は出すべきだと思う。あと議員になるまでの費用も問題だと思う。
- ・現在の小矢部市議会の最大の問題点は、議員の高齢化だと思う。現在15人中、70代が6名、60代が6名もいて全体の8割を占めており、小矢部市の絶望の象徴で、未来指向のまちづくりはできない。「65歳を超えたら立候補を自粛するよう努める」といった努力目標的な倫理条例を設けるなどして、世代間の歪みを修正する試みが必要だと思う。他にも、女性議員比率や若者議員比率を上げる努力目標も掲げ、市民に希望を与える市議会を目指してほしい。
- ・もっと広報活動をして欲しい。自分から情報を探さないと、参加者(特に学生や若者)が増えないと思う。身内にだけ声をかけて参加させるのでは、多様な意見も出にくく意味がないと思った。
- ・金額をあげても若い人は出てこないと思う。市議会の重要性をいかに理解してもらうかが大事かも。
- ・こんな機会をもっと作って若い人が参加し易いものにしたら良いと思います。
- ・7月までに市議会の中で検討してきた状況の説明があれば、参加者の理解も深いものになったと思う。
- ・議員活動がどうされているかわかりにくい。報告会があっても、地区民の要望を聞く機会をもつ必要がある。活動内容がこうだから、定員数や報酬額を決めるという話し合いになっていなかった。
- ・単なる報告会と異なりパネルディスカッションは運営が大変だったと思います。だからこそ、多様な意見があったことから、議員活動が活発になるよううまく意見や課題を使えばいいかなと感じます。グラフィックレコードはせっかく作成されたのですが、撮影したのですが、見えづらいので、議員やパネラーに提供していただければありがたいです。